

令和 8 年度 第 4 1 回宮崎県消防操法大会

と き 令和 8 年 8 月 22 日 (土)
ところ 宮 崎 県 消 防 学 校



門川町消防団第 1 分団第 1 部 幸森 大輝 1 番員
黒木 春菜 2 番員

主 催 宮 崎 県
公益財団法人 宮 崎 県 消 防 協 会

後 援 公益財団法人 日 本 消 防 協 会

大 会 概 要

1. 目的

本大会は、消防団員の消防操法技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実発展に寄与することを目的として開催する。

2. 大会役員

会 長	宮崎県知事
副 会 長	公益財団法人宮崎県消防協会会長
運営委員長	宮崎県危機管理統括監
運 営 委 員	宮崎県消防保安課長
	各消防本部消防（局）長
	公益財団法人宮崎県消防協会理事（支部長）
審 査 長	宮崎県消防学校長

3. 操法種目及び出場隊数

(1)ポ ン プ 車 操 法	出場	7 支部	7 隊	4 2 名
(2)小 型 ポ ン プ 操 法	出場	8 支部	9 隊	4 5 名
(3)小型ポンプ積載車操法	出場	9 支部	9 隊	4 5 名

4. 審査員

宮崎県消防学校職員	
各 消 防 本 部 職 員	計 3 5 名

5. 全国消防操法大会

「小型ポンプ操法」の優勝隊には、10月31日（土）に東京臨海広域防災公園で開催される第31回全国消防操法大会の出場資格が与えられる。

6. 審査長注意

本大会については、第41回宮崎県消防操法大会操法審査要領に基づき、厳正・公正に審査を行う。したがって、結果に対する異議の申し立ては、一切認められない。

大 会 次 第

1. 開 会 式

- | | |
|--------------------|-------|
| (1) 隊員整列 | 8時30分 |
| (2) 開会のことば | 8時40分 |
| (3) 国旗、県旗並びに協会旗に敬礼 | |
| (4) 優勝旗返還案内 | |
| (5) 大会会長あいさつ | |
| (6) 選手宣誓 | |
| (7) 解散 | |

2. 競 技

- (1) ポンプ車操法
- (2) 小型ポンプ操法
- (3) 小型ポンプ積載車操法

3. 閉 会 式

- | | |
|-------------------|--------|
| (1) 成績発表並びに講評 | |
| (2) 表彰 | |
| (3) 国旗、県旗並びに協会旗降納 | |
| (4) 閉会のことば | |
| (5) 解散 | 12時30分 |

第41回宮崎県消防操法大会
来 賓 名 簿

令和8年8月19日現在(確定)
(敬称略)

No.	職 名	氏 名	代理出席者
1	衆議院議員	渡辺 創	秘書 谷口 浩太郎
2		長友 慎治	秘書 淵上 将弘
3		古川 禎久	秘書 児玉 充
4		武井 俊輔	
5		江藤 拓	顧問 大山 和満
6	参議院議員	松下 新平	所長 児玉 勝
7		山内 佳菜子	秘書 齋藤 尚光
8	宮崎県町村会会長	佐藤 貢	日之影町長
9	県議会議長	外山 衛	
10	県議会議員	中野 一則	
11		前屋敷 恵美	
12		山下 博三	
13		函師 博規	
14		野崎 幸士	
15		日高 陽一	
16		川添 博	
17		佐藤 雅洋	
18		安田 厚生	
19		内田 理佐	
20		荒神 稔	
21		福田 新一	
22		本田 利弘	
23		下沖 篤史	
24		山口 俊樹	
25		今村 光雄	
26		松本 哲也	
27	小林市長	堀 研二郎	
28	串間市長	武田 浩一	
29	えびの市長	中山 義彦	
30	綾町長	松本 俊二	
31	木城町長	半渡 英俊	
32	川南町長	宮崎 吉敏	
33	椎葉村長	黒木 保隆	
34	高千穂町長	甲斐 宗之	
35	五ヶ瀬町長	小迫 幸弘	

第41回宮崎県消防操法大会支部代表出場者名簿

【ポンプ車操法の部】

順位	支 部 名	市 町 村 消 防 団 名	指揮者	1 番員	2 番員	3 番員	4 番員	吸 管 補助員
1	日 向 支 部	門 川 町 消 防 団 第 2 分 団 第 1 3 部	河 野 昭 雄	河 野 大 夢	河 野 叶 夢	吉 永 洋 斗	田 中 啓 介	木 村 健 人
	おはようございます！門川町消防団 第2分団 第13部です。 長い間、県大会を留守にしましたが、52年振りに帰って来ました！今年の操法員は、違います！ やる時は、やる男達です！（色んな意味で）13部！良いとか——！？ やるバイ——操法員——！！							
2	宮 崎 支 部	宮 崎 市 消 防 団 佐 土 原 分 団 4 部	磯 崎 築 田 村 暁	羽 田 野 匠 吾	林 田 優 杏	上 尾 貴 寛	飯 屋 瑛 斗	
	指揮者以外は消防操法大会初心者の要員で頑張っています。宮崎支部大会の勢いのまま上位入賞を目指します。							
3	東 諸 支 部	綾 町 消 防 団 第 4 部	吉 野 真 司	関 山 直 希	石 尾 悠 真	黒 木 幸 之 助	上 村 計 仁	西 郷 親 俊
	綾町消防団第4部は、部員22名で構成し、754戸を管轄しています。 サポートいただいた家族や地域の方々のためにも、入賞を目指して頑張ります。							
4	東 児 湯 支 部	川 南 町 消 防 団 第 1 分 団 第 5 部	税 田 一 平	永 友 章 太 郎	黒 木 優 田 中 剛	黒 木 唯 登	黒 木 陽 史 郎	
	部長1名、班長4名、団員11名で構成 管轄戸数 343戸。 訓練の成果を十二分に発揮できるよう頑張ります。							
5	西 諸 支 部	え び の 市 消 防 団 第 3 分 団 第 1 部	宮 田 龍 也	倉 田 清 太 郎	築 地 健 和	永 峯 楓	山 下 康 太 郎	藤 本 貴 壽
	地元では、約450世帯を管轄している部になります。早くから練習を重ね、県大会での優勝を目標にしてきたので、練習の成果を十分に発揮したいです。							
6	西 臼 杵 支 部	高 千 穂 町 消 防 団 第 1 分 団 機 動 部	甲 斐 元 氣	竹 石 賢 太	杉 本 竜 樹	佐 藤 蒼 真	藤 本 悟 司	佐 藤 成 優
	高千穂町消防団第1分団機動部として、本町中心部にポンプ庫を構え、2班体制18名で本町中心市街地はもとより、町内各所の防災を担っています。 県大会では、気負わず日頃の訓練の成果が出せるように努めます。							
7	都 城 支 部	三 股 町 消 防 団 機 動 本 部	中 内 達 也	中 村 諒	折 田 雅 剛	丸 野 輝 理	大 田 桃 矢	大 浦 秀 翔
	私たちは、女性団員を含む31名で町全域11,600世帯を管轄し、指揮車以下6台の車両を管理しています。 連続出場として、前回大会の悔しさをバネに、これまで多くの方のご支援・ご指導を受けながら、町民の安心・安全のために練習に励んできました。 特に今回、出場団員から並々ならぬ決意の表れが感じられます。ご声援よろしくお願いします。							

第41回宮崎県消防操法大会支部代表出場者名簿

【小型ポンプ操法の部】

順位	支 部 名	市 町 村 消 防 団 名	指揮者	1 番 員	2 番 員	3 番 員	吸 管 補 助 員
1	日 向 支 部	椎 葉 村 消 防 団 本 部	椎葉 友也	吉住 旭生	竹中 将汰	松田 健太郎	甲斐 祐貴
	私たち椎葉村消防団本部は、椎葉村中央部の163世帯337名の上椎葉右岸地区を管轄しており、部員数30名と少ない部員で地域の安全安心な暮らしを守っています。 小型ポンプ操法を通して団員との絆、チームワークを高めることを目的とし、地域の皆さんに応援される消防団活動を行っています。 各操法員の個性を活かし、キラリと光る「きらり操法」を目指し、心を一つに大会に挑みます。						
2	西 諸 支 部	小 林 市 消 防 団 第 3 分 団 第 1 0 部	佐々木 彬彦	竹原崎 竜也	丸 田 隆 也	田 中 裕 樹	有屋田 晋吾
	団員数20名で構成し、小林市の西小林地区で約750戸を管轄しています。 地域の誇りと伝統の10部魂を胸に、小林市並びに西諸地区の代表として全力で消防操法を行います。						
3	延 岡 支 部	延 岡 市 消 防 団 第 2 支 団 南 方 第 1 分 団 第 4 3 部	有 田 直 樹	中 村 浩 二	柳 田 浩 治	長 友 克 征	長 友 正 征
	延岡市消防団第2支団南方第1分団第43部は、延岡市の西部に位置し、1719世帯ある野田地区を管轄としています。 日頃の訓練の成果を100%発揮して、一緒に訓練してきた仲間や地元住民のために優勝目指して頑張ります。						
4	西 臼 杵 支 部	高 千 穂 町 消 防 団 第 1 分 団 第 1 部	甲斐 亮一	戸 高 洋 昭	桐 木 拓 人	甲斐 勇磨	橋 本 晶 平
	高千穂町消防団第1分団第1部1班として、高千穂町内の2つの公民館区域を15名で管轄しています。 県大会は初めての出場となります。先輩方から受け継いだ想いと技術を発揮できるよう、精一杯頑張ります。						
5	宮 崎 支 部	宮 崎 市 消 防 団 清 武 分 団 9 部	田 嶋 大 門	平 原 鯛 三	森 淳	市 川 滉 也	中 邨 順 一
	宮崎市消防団清武分団第9部です。 日ごとの夜間練習の成果を存分に発揮し先輩方から受け継いだ伝統と確かな技術で迅速かつ確実な操法を披露します。						
6	南 那 珂 支 部	日 南 市 消 防 団 鵜 戸 分 団 第 4 部	前 田 勇 樹	永 井 龍 二	宮 口 拓 也	清 建 也	中 野 慎 也
	鵜戸分団初の優勝を目指し、これまで積み重ねてきた訓練の成果を存分に発揮できるよう、選手・団員一丸となって全力で挑みます。						
7	都 城 支 部	三 股 町 消 防 団 第 6 部	佐 澤 元	道 添 隆 幸	乗 峯 敏 明	東 聡	田 上 尚 彦
	団員数23人で約2,200世帯を管轄しています。団員一丸となって練習に励んでいます。練習の成果を発揮し、入賞目指して頑張ります。						
8	宮 崎 支 部	宮 崎 市 消 防 団 佐 土 原 分 団 1 2 部	齋 藤 直 之	齋 藤 哲 也	斉 藤 悦 貴	齋 藤 志 郎	垣 内 直 樹
	初めての県大会に12部の風を吹かせるのが楽しみです！						
9	東 児 湯 支 部	川 南 町 消 防 団 第 1 分 団 第 4 部	横 尾 和 信	長 友 信 也	長 友 誠 一 郎	佐 々 木 直 之	佐 光 将 宗
	部長1名、班長4名、団員7名で構成 管轄戸数 577戸。 初の県大会出場、全てを出しきります。						

第41回宮崎県消防操法大会支部代表出場者名簿

【小型ポンプ積載車操法の部】

順位	支 部 名	市 町 村 消 防 団 名	指揮者	1 番 員	2 番 員	3 番 員	吸管 補助員
1	日 向 支 部	日向市消防団第1分団第3部	斎藤 拓馬	鈴木 亨	松木 孝俊	鈴木 義隆	佐藤 兆
	日向市塩見地区580戸を管轄。 30代を中心に50代まで含めて構成されており、県大会出場を目指し2年前に隊を結成。 去年・今年と支部大会連覇を果たし、10年ぶりの県大会出場を掴み取りました。これまで支えてくれた家族や地域住民・団関係者の方々の期待に応えられるよう、また出場するからには優勝を目指して今日はこれまでで最高の操法を行います。						
2	西 臼 杵 支 部	日之影町消防団第3分団第13部	坂本 善行	佐藤 賢吾	工藤 啓之	甲斐 達也	甲斐 尚
	私達第3分団第13部は、部長以下26名で、長谷川地区公民館区内142戸を管轄しています。 先輩方も県大会に出場した伝統ある部です。 暑い最中での熱い訓練の成果をしっかりと発揮し、伝統と誇りと決意を胸に、優勝を目指し団員一丸となって大会へ臨みたいと思います。						
3	南 那 珂 支 部	串間市消防団大東分団第6部	松本 和也	星田 和希	山口 大介	井手 博也	山口 晃司
	大東分団第6部は3自治会45戸を管轄し、団員数6名で構成されています。少人数ではありますが、1人1人意識を高く持ち、消防団活動に取り組んでいます。 今大会にむけてチーム一丸となり、訓練に励んできました。串間市の代表として全力で操法を実施したいと思います。						
4	延 岡 支 部	延岡市消防団第1支団 東海第1分団第4部	甲斐 亮一	甲斐 建斗	後藤 悠磨	岩切 和広	田口 茂広
	延岡市消防団第1支団東海第1分団第4部は延岡市の北部に位置し、947世帯ある川島地区を管轄としています。 地域の代表としての誇りを持ち、仲間を信じてベストを尽くします。						
5	東 児 湯 支 部	木城町消防団第1分団第4部	長友 暢輝	栗 栄 元貴	黒木 正樹	佐々木 恒太	宗石 栄男
	木城町消防団第1分団第4部部長寺村智紀(てらむら とものり)以下9名です。県大会優勝を目指し、日頃から練習に励んでまいりました。 練習の成果を十二分に発揮して、優勝したいです。						
6	宮 崎 支 部	宮崎市消防団高岡分団8部	田 口 英	井野 志郎	西 谷 修	日高 圭悟	中西 和志
	高岡総合支所が建っている高岡地区の中心部を管轄しています。 操作員の平均年齢は50歳で、ケガのないように練習に取り組んでいます。8年ぶりの県大会出場です。頑張ります。						
7	西 諸 支 部	えびの市消防団第2分団第3部	弓 場 大樹	徳重 泰地	池上 右将	栗 下 響	平 泰 大
	地元では、約110世帯を管轄している部になります。 部としては初めての県大会なので、選手全員非常に緊張していますが、練習通りの操法ができるように頑張ります。						
8	都 城 支 部	三股町消防団第3部	中野 和紀	國分 元揮	猪鹿 月 敦	黒木 郁弥	和田 賢太郎
	三股町消防団第3部管轄戸数は約700世帯を管轄しております。 初の県大会出場という事もあり、日々訓練を重ねてきました。 今日は精一杯日頃の訓練の成果を発揮するとともに迅速かつ正確な操法をやり遂げます。						
9	東 諸 支 部	綾 町 消 防 団 第 2 部	近藤 勝水	西郷 剛志	大隈 亨 晟	中 蘭 佳寿	大隈 成剛
	綾町消防団第2部は部員16名で構成し、460戸を管轄しています。 家族や地域の方々に感謝をし、東諸支部の代表として入賞を目指して頑張ります。						

第41回宮崎県消防操法大会支部代表出場隊

【ポンプ車操法の部】

基準タイム (第1線 55秒 第2線 65秒)

順位	支部名	市町村消防団名	決定タイム (秒)	
			第1線	第2線
1	日向支部	門川町消防団第2分団第13部		
2	宮崎支部	宮崎市消防団佐土原分団4部		
3	東諸支部	綾町消防団第4部		
4	東児湯支部	川南町消防団第1分団第5部		
5	西諸支部	えびの市消防団第3分団第1部		
6	西臼杵支部	高千穂町消防団第1分団機動部		
7	都城支部	三股町消防団機動本部		

【小型ポンプ操法の部】

基準タイム 45秒

順位	支部名	市町村消防団名	決定タイム (秒)
1	日向支部	椎葉村消防団本部	
2	西諸支部	小林市消防団第3分団第10部	
3	延岡支部	延岡市消防団第2支団 南方第1分団第43部	
4	西臼杵支部	高千穂町消防団第1分団第1部	
5	宮崎支部	宮崎市消防団清武分団9部	
6	南那珂支部	日南市消防団鶴戸分団第4部	
7	都城支部	三股町消防団第6部	
8	宮崎支部	宮崎市消防団佐土原分団12部	
9	東児湯支部	川南町消防団第1分団第4部	

【小型ポンプ積載車操法の部】

基準タイム 55秒

順位	支部名	市町村消防団名	決定タイム (秒)
1	日向支部	日向市消防団第1分団第3部	
2	西臼杵支部	日之影町消防団第3分団第13部	
3	南那珂支部	串間市消防団大東分団第6部	
4	延岡支部	延岡市消防団第1支団 東海第1分団第4部	
5	東児湯支部	木城町消防団第1分団第4部	
6	宮崎支部	宮崎市消防団高岡分団8部	
7	西諸支部	えびの市消防団第2分団第3部	
8	都城支部	三股町消防団第3部	
9	東諸支部	綾町消防団第2部	

第4 1回宮崎県消防操法大会成績表

成績	ポンプ車操法の部	小型ポンプ操法の部	小型ポンプ積載車操法の部
優勝	消防団 分団 部	消防団 分団 部	消防団 分団 部
第2位	消防団 分団 部	消防団 分団 部	消防団 分団 部
第3位	消防団 分団 部	消防団 分団 部	消防団 分団 部

宮崎県消防操法大会優勝出場隊

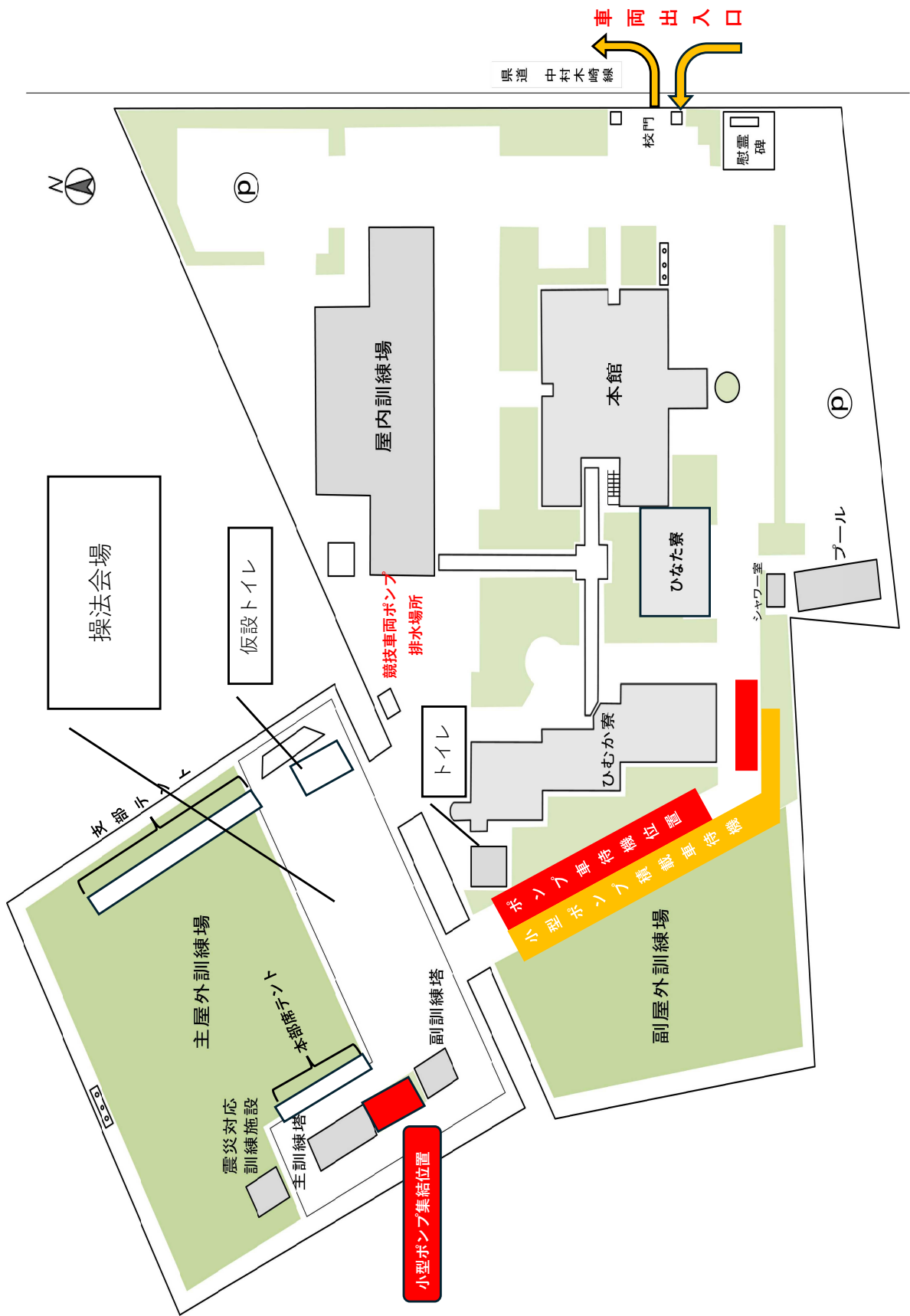
番号	年度	県大会 回数	全国大会 回数	ポンプ車操法	小型ポンプ操法	小型ポンプ積載車操法
1	平成20年度	31	21	野尻町第3分団第6部	日之影町第3分団第12部	日向市第1分団第3部
2	平成22年度	32	22	口蹄疫の影響のため中止		
3	平成24年度	33	23	日向市第2分団第6部	都農町東分団第4部	日之影町第3分団第13部
4	平成26年度	34	24	高千穂町機動分団第1部	日之影町第3分団第13部	小林市第7分団第5部
5	平成28年度	35	25	日向市第2分団第6部	日之影町第3分団第13部	日向市第1分団第3部
6	平成30年度	36	26	高千穂町機動分団第2部	日之影町第4分団第16部	美郷町南郷分団第6部
7	令和2年度	37	27	新型コロナウイルス感染拡大のため中止		
8	令和3年度	38	28	新型コロナウイルス感染拡大のため中止		
9	令和4年度	39	29		椎葉村消防団第10部	
10	令和6年度	40	30	小林市第1分団第5部	日之影町第3分団第13部	高千穂町第5分団第2部
11	令和8年度	41	31			



消防団員の皆様へ

宮崎県消防操法大会についてのアンケートに
御協力をお願いします。

第41回宮崎県消防操法大会 会場レイアウト



火の確認 いい日を支える いい習慣

本県では消防庁及び日本消防協会にならい、審査基準の見直しを行っています

また、熱中症対策のため、開会式及び閉会式のプログラム短縮に努めています

各隊員の皆様には交通ルールやマナーの遵守に御協力をお願いします



宮崎県消防団特設サイト
「DAN!!」



宮崎県消防協会
ホームページ

